

第 20 回 石綿分析技術評価事業の案内書

公益社団法人 日本作業環境測定協会

1 総 則

この要領は、石綿分析技術評価事業に関し、その実施に必要な事項を定めるものです。

本事業は、石綿障害予防規則その他の関係法令等の定めによるほか、この要領に従って実施し、ここに定めのない事項については、公益社団法人日本作業環境測定協会（以下「協会」と略）会長が決定することと致します。

2 事業の目的

わが国では、今後、建築物の解体等で発生する石綿による健康障害リスクが増大すると予測されています。

そのような状況の中で、労働者及び公衆の石綿による健康障害の発生を予防するためには、「建築物及び工作物等の石綿含有の有無及び程度を判定する分析技術」及び「作業環境及び大気中に飛散する石綿を採取して計数を行う技術」が必要であるため、本事業は、石綿の分析に携わる方を対象に、建材中の石綿の分析技術及び石綿繊維の計数技術のレベルを客観的に評価し、及びその向上を図ることを目的として実施するものです。

3 事業の概要

石綿（アスベスト）分析の技術及び精度について評価・認定を行います。「建材など固体中の石綿」（カテゴリー 1）と「空気中に浮遊する石綿（カテゴリー 2）」の 2 つのカテゴリー別に実施しており、いずれか又は両方のカテゴリーにご参加いただけます。

4 参加対象者

石綿の分析に携わる方。

5 「カテゴリー 1」（評価区分 1～3 及び 5）の実施内容

カテゴリー 1 は、建材等に石綿が含まれているか、また含まれている場合はどの種類の石綿であり、どのくらいの割合（%）で含まれているかについての分析技術の評価・認定を配付試料の分析を通して行います。

建材製品中の石綿含有率測定方法を定めた日本産業規格（JIS A 1481 規格群）

の分類に合わせて表 1 の評価区分 1～3 及び 5 の 4 つの区分について評価及び認定を行います。

表 1 「カテゴリー 1」の評価区分と参加者の実施事項

カテゴリー 1 の評価区分			指定する方法*
区分	試験結果の判定等	試験内容	
評価区分 1	合格	固体試料について、「実体顕微鏡及び偏光顕微鏡（任意で電子顕微鏡）」を用いて「石綿が含まれているかの確認及び含まれている場合は石綿の種類判別」（「定性分析」といいます。）を行います。	JIS A 1481-1 （による方法）
	不合格		
評価区分 2	合格	固体試料について、「位相差・分散顕微鏡と X 線回折装置」を用いて「石綿が含まれているかの確認及び含まれている場合は石綿の種類判別」（「定性分析」といいます。）を行います。	JIS A 1481-2 （による方法）
	不合格		
評価区分 3	A ランク	固体試料について、「位相差・分散顕微鏡と X 線回折装置」を用いて「石綿が含まれているかの確認及び含まれている場合は石綿の種類判別」（「定性分析」）並びに「石綿の含有率（何%含まれているか）の決定」（「定量分析」といいます。）を行います。	JIS A 1481-2 と JIS A 1481-3 （を合わせて用いる）
	B ランク		
	C ランク		
	不合格		
評価区分 5	A ランク	固体試料について、「実体顕微鏡及び偏光顕微鏡（任意で電子顕微鏡）」を用いて「石綿が含まれているかの確認及び含まれている場合は石綿の種類判別」（「定性分析」）並びに「X 線回折装置」を用いて「石綿の含有率（何%含まれているか）の決定」（「定量分析」）を行います。	JIS A 1481-1 と JIS A 1481-5 （を合わせて用いる）
	B ランク		
	C ランク		
	不合格		

※JIS では、この他新たに平成 28 年 3 月 22 日に第 4 部（JIS A 1481-4）：「質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法」が加わっておりますが、今回は、本法に係る技術評価は含みません。

6 「カテゴリー2」の実施内容

カテゴリー2は、顕微鏡を用いて「プレパラート」の石綿繊維の本数を正確に数える（計数といいます）技術の評価・認定を配付試料を用いて行います。石綿繊維の計数の方法は、「作業環境測定ガイドブック 1」（当協会編集）や環境省編の「石綿飛散防止対策マニュアル」、または JIS K 3850-①「空気中の繊維状粒子測定方法―第1部」に規定する方法を用いることとしております。（表2参照）

表2 「カテゴリー2」の評価区分と参加者の実施事項

区分	試験結果の判定等	試験内容	指定する方法
評価区分4	Aランク	配付されたプレパラートについて、石綿の繊維の本数は位相差顕微鏡を用いて数える。	作業環境測定ガイドブック1（当協会編集）等の方法
	Bランク		
	Cランク		
	不合格		

7 申込方法

今年度より申込方法が変更になりました。
トップページの JAWE-NAVI より参加する方一人ひとりがそれぞれお申込みいただく方法になりました。まず「個人利用者アカウント」の作成を行った後に試験の申込をしてください。
※所属先が当協会の法人会員で割引を希望される場合、所属先の法人の利用者 ID（アルファベット3文字+数字5けたの組合せ）が必要です。

- ① 当協会のトップページの JAWE-NAVI よりお申し込みください。
詳細は「第20回石綿分析技術評価事業の申込方法について」のマニュアルをご参照ください。
- ② 参加画面で参加項目を入力し送信後、登録したメールアドレス宛に申込完了のメールが送信されます。申込完了のメールが届かない場合は石綿分析技術評価事業専用メール (ishiwata-k@jawe.or.jp) にご連絡ください。
- ③ お申し込み情報に誤りがあった場合もお手数ですが、石綿分析技術評価事業専用メール (ishiwata-k@jawe.or.jp) にご連絡ください。

注意点：JAWE-NAVI のアカウント作成について、一人につき 1 つのメールアドレスが必要となります。

ご所属先で 1 つのメールアドレスを複数名で共有して使用している場合は 2 人目が共有しているメールアドレスを入力するとエラーとなり登録できません。その場合は別のメールアドレスを登録してお申込みいただく必要がございます。

8 申込期限について

申込締切日は、**令和 8 年 4 月 30 日 (木) 16 時まで (時間厳守)** と致します。

なお、「カテゴリー 2」については参加者数に上限 (340 名) がありますので、申込期限よりも前に上限に達する場合がありますのでご注意ください。

申込期限を過ぎますと、参加申し込みフォームは閉鎖致します。申込期限を過ぎてのお申込みは、いかなる場合も受付は出来ませんので、あらかじめご了承ください。

9 参加費について

参加費は、次頁の**表 3**のとおりです。

なお、会員割引の適用は当協会に会員として登録している住所のみになります。例えば東京支店が会員の場合、同一会社でも大阪支店でお申込みいただいた場合は一般価格となりますのでご注意ください。

また、「個人利用者として登録した」メールアドレスに請求書を送信させていただきますので、そのメールから PDF データのダウンロードが可能になります。

経理担当者に請求書をお渡しいただき、指定期日までに参加費をお振り込みください。

今年度より郵送による請求書の送付は行いませんのでご注意ください。

なお、申し込みの状況に応じて試料を調製いたしますので、申し込み後のキャンセルにつきましては返金致しかねます。あらかじめご了承ください。

表 3 参加費

	所属先が作業環境測定機関 法人会員または 自社測定事業場の法人会員	一般価格 (所属先が協会の賛助法人会員 ・個人会員も含む)
評価区分 1～5	参加者 1 名 1 項目につき 50,820 円 (税込)	参加者 1 名 1 項目につき 82,500 円 (税込)

例：法人会員の作業環境測定機関に所属する A さんが評価区分 1 と 3 と 4 を参加する場合の参加費用は、

@50,820 円 (税込) × 3 項目 = 152,460 円 (税込) となります。

10 実施スケジュール

事業の実施スケジュールは以下のとおりです。(図1参照)

なお、これらの実施予定期日に変更があった場合には、当協会 WEB サイトに掲載いたしますのでご確認ください。

- (1) 参加申込書の提出期間 (参加者) 令和8年4月3日
～令和8年4月30日16時まで (厳守)
お申し込みはJAWE-NAVIからのみとなります。
- (2) 請求書の送付 (協会) 令和8年5月8日までにメールで送信
- (3) 入金確認後試料送付 (協会) 令和8年6月上旬(予定)
 - ①カテゴリー1 固体試料 (どの評価区分も配付試料は3個1セット) を配付します。
 - ②カテゴリー2は当協会が提供する位相差顕微鏡用プレパラートを使用します。
- (4) 分析結果の提出期限 (参加者) 令和8年7月上旬(予定)
- (5) 判定結果の通知 (協会) 令和8年8月末日 (参加者宛に送付)
 - ①カテゴリー1の試験結果の判定は、定性分析である評価区分1及び2はランク認定を行わず、合否のみ判定致します。また、評価区分3及び5は合否判定後、合格者についてA～Cのどのランクであるかについてレベルに応じて認定を行い、結果を通知します。
 - ②カテゴリー2はあらかじめ設定した合否の基準を用いて、合否及び合格の場合はA～Cのいずれのランクであるかを判定します。

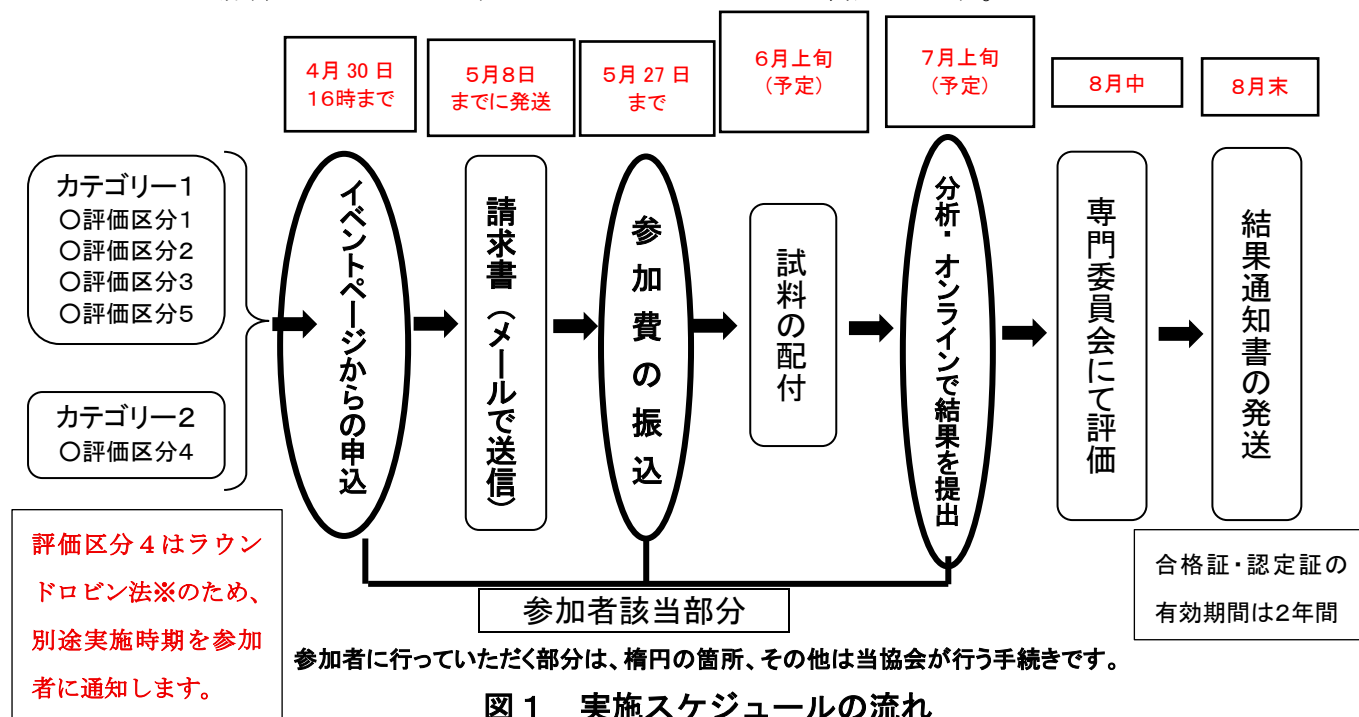


図1 実施スケジュールの流れ

※ラウンドロビン法：試験試料数よりも参加者数が多い場合、参加者数に応じて数回に分けて繰り返し試験を実施する方法

評価区分4については、参加者数の関係上ラウンドロビン法にて試験を実施しており、試料の配付は第1期～第4期(申し込み多数の場合第5期までとし、申込者数の上限は340名となりますのでご注意ください。)に分けて送付いたします。試料の発送予定日はお申込み受付期間が終了次第ご案内致します。そのため、結果の提出期限も第1期～第4期で異なりますので、十分ご注意ください。なお、1期当たりの分析期間は2週間を予定しております。参考までに令和7年度の試料の発送日は令和7年5月9日、5月30日、6月20日、7月11日、7月30日の第1期から第5期に分けて実施しました。第1期から第5期の振分けは評価区分4の参加費の入金が確認できた順になりますので、第1期等の早い時期の参加をご希望の場合は早めの入金をお勧めします。

11 分析結果の提出方法

試料受領後、JAWE-NAVI より実施要領を参照のうえ分析を実施し、その結果を指定期日までに入力フォームに入力し送信するとともに WEB 提出データ作成用紙に記入し、PDF ファイルとしてアップロードして提出いただきます。

12 その他

- ①合格の場合は、同意が得られた方につきましては、当協会 WEB サイトに氏名と所属先を掲載いたします。
- ②評価区分3・4及び評価区分5において結果がB又はCランク及び不合格の方には2回目の試験の機会を設けております。(※ただし、2回目の試験を受験される場合、最終判定は2回目の試験結果のみで行いますので、ランクについては結果が良くなる場合、変わらない場合及び悪くなる場合のいずれの可能性もあります。)
- ③分析結果の判定等は、専門家委員会(学識経験者等で構成)の議を経て決定します。
- ④実施スケジュール等本事業に係る伝達事項については、当協会 WEB サイトでお知らせいたしますので、当協会 WEB サイト (<https://www.jawe.or.jp/>) を必ずご確認ください。

「本件担当事務局(連絡先)」

(公社)日本作業環境測定協会 研修センター

石綿分析技術評価事業専用メール (ishiwata-k@jawe.or.jp)